



実施報告書

理学研究科 物質理学専攻 (化学系) 機能有機化学研究室
博士後期課程 1年 梶原啓司

実施企画

Exciting Organic Chemistry with Light ~ GTR/ITbM Chemistry Workshop 2019 ~

運営委員

梶原 啓司 理学研究科 物質理学専攻化学系 機能有機化学研究室 D1
奥出 諒 理学研究科 物質理学専攻化学系 有機化学研究室 D1
榊原 陽太 理学研究科 物質理学専攻化学系 有機化学研究室 D1
土屋 祐人 工学研究科 有機・高分子化学専攻 有機反応化学研究室 D2
鈴木 隆平 工学研究科 有機・高分子化学専攻 有機反応化学研究室 M2

企画目的

共通の起点から異なった研究展開をしている先生方の講演を聴くことにより、学生が研究に対する新たな視点及び価値観を獲得する。同時に、各分野の最先端の化学に触れることにより、学生自身の研究意欲を向上させる。また、学生によるポスター発表を通じて、異分野の先生方や学生間の交流により、研究活動の促進や異分野の研究者に対して自身の研究を発信する能力の向上につながる場を提供する。

企画概要

本シンポジウムは招聘した 5 名の講演者による講演セッションと学生 37 名がポスター発表を行うポスターセッションの 2 部構成である。講演セッションでは講演者 1 人あたり 60 分間が割り当てられており、学生による講師紹介 5 分、講演 30 分、質疑応答 25 分で構成される。本シンポジウムにはポスター賞、ベストディスカッション賞を設けており、各講演者にそれぞれ 1 名ずつ選出していただく。なお本企画は発案から講演者の選定、会場設営に至るまで、全て学生の手によって執り行われる。

開催日

2019年12月2日(月) 9:30-19:30

会場

野依記念物質科学研究館 2階講演室 (講演会)

ITbM 棟 1階 エントランス (ポスターセッション)

講演者

村中 厚哉 氏 (理化学研究所 開拓研究本部 専任研究員)

嘉部 量太 氏 (沖縄科学技術大学院大学 有機光エレクトロニクスユニット 准教授)

安藤 吉勇 氏 (東京工業大学 理学院化学系 助教)

松原 亮介 氏 (神戸大学大学院 理学研究科化学専攻 准教授)

田村 朋則 氏 (京都大学大学院 工学研究科合成・生物化学専攻 講師)

プログラム

9:30-9:40	開会挨拶
9:40-10:40	講演 1:村中 厚哉 氏
10:40-11:40	講演 2:嘉部 量太 氏
11:40-13:00	昼休み
13:00-14:00	講演 3:安藤 吉勇 氏
14:00-15:00	講演 4:松原 亮介 氏
15:00-15:20	コーヒープレイク
15:20-16:20	講演 5:田村 朋則 氏
16:20-16:30	閉会挨拶
17:00-19:30	ポスターセッション、懇親会

成果まとめ

講演会では物理有機化学，有機光材料化学，有機合成化学，有機光触媒化学，生体内有機化学といった，光を使った有機化学を共通の軸としながらも異なる分野においてご活躍されている先生方の講演を聴くことができ，自身の研究内容と光化学との結びつきを再考するのみならず，分野をまたいだ研究展開の手法を学ぶことができた．当日は光を研究に用いている学生や有機化学を専攻する学生のみならず，様々な研究背景を有する学生等が 100 名以上参加した．さらに，本シンポジウムの特徴の一つである，長時間の質疑応答では，特に講演者と学生の間で密度の濃い議論が繰り広げられた．また，各講演の質問者の中から，講演者により 1 名ずつ選出された「発表内容に関して最も良い質問をした学生」に対し，ベストディスカッション賞を授与した．ポスターセッションでは，自身が専攻する分野のみならず，異なる分野のポスター発表者との交流を参加者に促し，参加学生に自分の研究へと昇華できる新たな知識を獲得できる機会を提供できた．主催側の学生にとっても，このようなシンポジウムを自ら企画，運営することは貴重な経験となり，シンポジウムを円滑に進行できたことは大きな自信となった．



講演者とシンポジウム参加者の集合写真